

# 日々 往来

河本 勝也



6月下旬、日本銀行鳥取事務所に赴任しました。初

回の執筆となりますので、簡単に自己紹介させていただきますと、私は兵庫県尼崎市で生まれ育ちました。これまで修学旅行や家族旅行で鳥取砂丘や浦富海岸、大山、皆生温泉などを訪れたことがあり、当地にはさまざまな楽しい思い出があります。また、子ど

## 金利のある世界

もの頃は毎年秋になると、岡山県に住む祖母から二十世紀梨が届き、そのみずみずしさとシャキシャキとした食感で、今でも好きな果物の一つとなっています。

さて、日本銀行では7月の金融政策決定会合において、短期の政策金利を0・25%程度に引き上げる決定を行いました。これは、最近の経済・物価の動きが私たちの見通しにおおむね沿って推移していること、輸入物価が再び上昇に転じていることを踏まえ、2%の物価目標の持続的・安定的な実現という観点から、利上げを行うことが適切であると判断したことによるものです。

この決定を受けて、金融機関では預金金利や貸出金利を

引き上げる動きも見られるなど、いわゆる「金利のある世界」への回帰が進みつつあります。もちろん、利上げ後も実質金利(名目金利から物価上昇率を引いたもの)は大幅なマイナスであり、緩和的な金融環境に変わりはありませんが、今後、皆さまの生活にさまざまな影響が出てくることになろうかと思えます。

日本銀行鳥取事務所では、皆さまとのさまざまなコミュニケーションを通じて、こうした利上げの影響など地域の実情の把握に努めるとともに、今後の金融政策の適切な運営に生かしていきたいと考えています。今後とも、どうぞよろしく、お願い申し上げます。

(日本銀行鳥取事務所長)